

**【派遣】信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための
学生への海外活動(短期)支援実施状況および成果**

プログラム名	オーストラリア ウーロンゴン大学附属カレッジ英語研修プログラム	
学部・研究科名	グローバル化推進センター	
プログラム実施期間	2022年8月20日～9月17日	
研修先(国・都市・施設名)	オーストラリア・ウーロンゴン・UOW College Australia	
参加学生数	18名	知の森からの支援者 : 13名
プログラム概要	本プログラムは事前調査、UOW College Australia主催のプログラム参加、新たな構想の提案という一連の活動を通して、VUCA・ニューノーマル時代において重要視される「グローバル×構想力」の基礎を身に付けることを狙いとしている。事前課題では自らが着目する国内地域の課題を設定し、その実際について調査を実施。研修期間中は英語授業、ホストファミリーとの交流、現地の文化施設等の訪問等を通して、オーストラリアでの地域課題や対応施策の実際について理解を深め、これらと比較・検討し、設定した国内地域が今後発展するための新たな構想を作り上げる。	

実施状況・成果

【事前学習について】

・事前学習では学生が「歴史、環境、文化、農業、産業、教育」の分野から関心のあるテーマについてオーストラリア現地及び日本の状況を調査・比較し、最終日のオンライン事前学習会で現地校の教員2名を招き、調査内容のプレゼンテーションと質疑応答を行った。

【現地研修について】

・午前中の英語授業では他大学の日本人学生と共にオーストラリアをテーマとした授業が行われた。授業にはオーストラリア固有の生物が見られる動物園や先住民であるアボリジニ文化センター訪問等の授業の内容に関連した課外活動も含み、明るく優しい教員のサポートのもと、多くの学びがあったようだ。
・一般家庭でのホームステイや現地学生との交流等活動を通じて、英語に慣れ親しむことに加えて異文化理解を進められた点で参加者の得るものが大きかった。帰国後の報告書内ではオーストラリア人の話す英語の訛りに苦労したり、英語でのコミュニケーションに苦労したようだが、英語を完璧に話すことよりも、コミュニケーションを取ろうとする姿勢の大切さに気付いた学生が多かった。

研修全体を通して参加学生は、英語研修でのオーストラリアの歴史や環境に関して授業で学ぶだけでなく、週末には公共交通機関を使用して政治や建築、街並みや市場を訪問し体験することで、日本との違いを発見した。特に、ホームステイ先でのホストファミリーや下宿生と生活を共にすることで、仕事と家での生活の切り分けを明確にすることや、家族間のコミュニケーションを大切にすること、家の生活と地域での憩いの場があることなど、日本との違いを感じ、むしろ日本での生活やワークライフバランスがとれていないという課題に気が付いた学生が多かった。また、日本より常に挨拶やその後の何気ない会話の機会が多く、豊富なコミュニケーションを体験し実践していたようである。キャンパス内で芸術表現をする学生や友人とゆったりと過ごす場や機会が多くあることに違いに気づく学生も多かった。これらの異文化体験から、日本での大学生生活をより客観的な視点で見直す機会になり、引き続き海外との交流や海外での将来の仕事を意識しながら、より主体的にまた多角的な視点で学業に取り組み日常生活を過ごしたいと考えるような変化が多く見られた。ホームステイ、課外活動、現地学生との交流を通して、英語でのコミュニケーション力を高めるとともに、事前学習調査したテーマの日本との共通点・相違点等を理解した。

学生の声①-工学部 学生

オーストラリアで日本とは全く異なる異文化を経験して、自身の考え方に幅ができてと感じています。オーストラリアでは、肌色も英語のアクセントも違う様々な人種の人と関わったり、カフェに家族で来る人が多くいたり、飲食店の机が汚かったり、季節が分からないくらい皆違う自由な服装をしていたり、日本ではできない様々なことを体験しました。これにより、自分の価値観が無意識のうちに日本の価値観で縛られていたことに気づくことができました。これに気づいたことで、以前よりも自分と他者の違いについて、寛容に考える事ができるようになったと思います。

学生の声②-人文学部 学生

視野を広げること、英語力の向上、精神面の強化、そしてたくさんの人とコミュニケーションを取り新たな価値観を得ること。私は主にこの4つを留学の目的としていました。これらの目標は1つずつ達成されたというよりも、すべてが関連していてそれぞれが日々向上していたように思います。留学をしてみて最も強く感じたことは、すべてが自分次第であるということです。自分から積極的に話しかければ何も起こらないのだと気づき能動的に行動するようになりました。現地の人とのコミュニケーションも、英語力の向上もすべてが自分がそれを達成するためにどのように行動するのにかかっています。~したいとただ思っているのではなく、そのために何をやるのか常に先を考えることの大切さを学びました。

課外活動の様子



修了式にて

